

あぐれむ

vol.14

発行／(株)ふるさと葬祭アグレム(事務所)

横手市大雄字本庄道北堰間13

TEL.0182-52-3930

FAX.0182-52-3931

ホームページ

www.ja-sousai.co.jp/furusato

端午の節句

5月5日は子どもの日です。昭和23年（1948年）に制定され、それ以前は「端午の節句」と呼ばれ、男の子の健やかな成長と幸せを願うお祝いの日ですが、起源は奈良時代旧暦5月の初めの午（うま）の日に若い女性が家や神社にこもり、田植えの前に穢れを祓い薬草にも使われ、魔除けの意味を持つ菖蒲の葉やヨモギを軒にさして厄災を寄せ付けないようにした女性の神事が始まりだそうです。

それが宮中行事に発展し、政治の中心が貴族から武士に移行した鎌倉時代頃より「菖蒲」が武道を重んじる「尚武」や「勝負」と同じ読みである語呂合わせや菖蒲の葉の形が剣を連想させることなどから武士の間で男の子の誕生のお祝い、健やかな成長と出世を願う行事になったと云われています。

この頃から鎧、兜、刀、武者人形や金太郎・武藏坊弁慶を模した五月人形などを室内に飾るようになったと云われ、身の安全を願って神社にお参りに赴く際、鎧や兜を奉納する武家のしきたりから来た風習のようです。それが現在では鎧兜が「身体を守るもの」という意味が重視され、交通事故や病気や災害から大切な我が子を守ってくれるようにとの願いを込めて飾られます。

また、最近では見かけることが少なくなりましたが、「鯉のぼり」も端午の節句にはかかせない飾りの一つで、立てられるようになったのは江戸時代の中頃と云われています。

鯉は清流はもちろん、池や沼でも生息できる生命力の強い魚で、中国では急流をさかのぼり竜門という滝を登ると龍になって天に登るという中国の伝説にちなみ、子供がどんな困難にあっても最後には立派な人になるようにとの立身出世を願う飾りです。

いつの時代にもわが子の健やかな成長を願う親の想いは変わらないものです。先代からの想いを受け継ぎ次世代へ繋ぐ、わが身の有り難さをしみじみと思わずにはいられません。



西誓寺住職 講演会



去る2月26日（日）、三枚橋の虹のホールアグレムに於きました。横手市中央町の西誓寺住職をお招きして、講題「生死出づべき道を尋ねて」～人生、このままでよいのだろうか？～と題した講演会が行わされました。当日は天候にも恵まれ、70名を超えるお客様にお越しいただきました。

講演はまず四苦八苦が仏教用語

であることにつれ

○生：生まれる苦しみ

○老：老いる苦しみ

○病：病気になる苦しみ

○死：死ぬ苦しみ

○常：常なることであり、いつもでも変わらずにいられると
思う事

○樂：楽しいことであり、不都合は起こらないと思う事

○我：自分が中心であり、ない
思う事

○淨：自分は清らかであり、間違いなど何もないと思う事

であると思つて生きているのが我々の姿であると説かれました。

また、奥様がすい臓がんで入院した時に毎日のように病院に行きながら、心の中に奥様を思う気持ち舞いに毎日のように病院に行きな

これらは皆に平等におこりうる苦しみにもかかわらず、わが身ばかりは

りは

○五陰盛苦（ごおんじょうく）

：煩惱が消えない苦しみ

これらは皆に平等におこりうる苦

りは

○愛別離苦（あいべつりく）
：愛する人と別れる苦しみ

○怨憎会苦（おんぞうえく）
：会いたくない人に会わなければならぬ苦しみ

○求不得苦（ぐふとくく）
：欲しい物が手に入らない苦しみ

○死ぬまでの生き方の「ヒント」がある

ので、積極的に「お経」に触れ、声に出して唱えて、「お経」の「言葉」の意味を勉強して欲しいと締めくくりました。



を上回つて自身の都合ばかりを考えた話をされ、ご自身に「智慧」：頭の働きや、「愛」：人を思う気持ちが欠けていたことに気付いたそうです。



また、別室ではアート写真館様による無料の写真撮影会、講演会終了後には恒例となりました竹炭そばが振る舞われ、参加された皆様に喜んでいただけたようでした。

そしてご自身が若い頃、中島みゆきの歌に勇気付けられ失恋の苦しみから立ち直った事や、26歳で亡くなった歌手、尾崎豊の三回忌法要に集まつた2万人の若者を例えにし、それぞれが歌に共感し、歌詞「言葉」から勇気をもらったり、慰められたりしたのだろうと、「言葉」の大切さを説かれました。

それでは、四苦八苦・常楽我淨の境地から「出づ」為の「智慧」

それでも気になる？～お葬式の費用～



はじめに「死」とは仏教における諸行無常の理から、生あるものは必ず滅びると考えられています。それは誰しも避けられない事ですが、人は他者の死を通じて間接的にしか体験することができません。「自分の死」は自分が生きている間には体験できない事なので、人は他者の死を通じて自分の死というものを見つめる事になります。死を悼んで人々が集まり行われる

はじめに「死」とは仏教における諸行無常の理から、生あるものは必ず滅びると考えられています。それは誰しも避けられない事ですが、人は他者の死を通じて間接的にしか体験することができません。「自分の死」は自分が生きている間には体験できない事なので、人は他者の死を通じて自分の死というものを見つめる事になります。死を悼んで人々が集まり行われる

『お葬式』は、私達に命の大切さや生あるものは必ず終わりを迎えることを教え、その後の生き方に道するべを与えるものになります。

亡くなつたあと、人々の心中にいつまでも生き続ける「心の中の生」を意味づけるために死を超える様々な観念体系が作り上げられました。これを形式化したものが『お葬式』だと考えられています。しかし、この

『お葬式』を行うには【葬儀費用】が発生します。

現在の葬儀は葬儀社がサポートしながら喪家様と葬儀内容を決めていく場合が多くなっています。その際、故人様の遺志を尊重し、残されたご遺族の意向を優先し打ち合わせを行います。しかしあ亡くなりにならぬから、ご葬儀を行うまでの時間は限られており、事前に葬儀の流れや費用を把握しておくことが大切です。

最近は『家族葬』という言葉でお葬式を行いあたたかい葬儀をよく耳にします。近親者のみ

トしながら喪家様と葬儀内容を決めていく場合が多くなっています。その際、故人様の遺志を尊重し、残されたご遺族の意向を優先し打ち合わせを行います。しかしあ亡くなりにならぬから、ご葬儀を行うまでの時間は限られており、事前に葬儀の流れや費用を把握しておくことが大切です。

横手市農村部ではいまだ家族葬は受け入れられていないのが現状で、地域や風習に基づいた葬儀が一般的です。葬儀の予算・地域の風習をふまえ事前に当社にご相談をしていただければ幸いです。

葬儀費用の構成

- 1. 固定費(ご逝去～葬儀まで)**
遺体搬送・棺等葬仏具・仏花・供物・遺影写真
祭壇・ホール利用料 等
- 2. 変動費(ご案内する人数・ご会葬者等で変動)**
お膳・引物・会葬品・飲食物・ハガキ 等
- 3. 寺院等費(葬儀料・戒名・院号など)**
お布施・戒名料・院号料 等

毎年恒例となりました人形供養祭。去る10月30日（日）、虹のホーラアグレムで開催されました。当日は曇天で肌寒い天候でしたが、370家族・780名と予想をはるかに超えるご来館を頂きました。今回は雄物川町深井・石川神官にご祈祷していただき、安心で心の込もつた供養・お別れとなりました。参加者全員の思いが詰まった心温まる一日となりました。



人形供養祭

葬儀に関する
不安や悩みは
ございませんか?

お葬式・法要の 無料事前相談 実施中

ご家庭の精神的・経済的なご負担を軽減したり、
少しでも安心して頂くために、どんな些細なこと
でもお気軽にご相談ください。

葬儀の事が
何もわからない

葬儀の準備には
何が必要なの?

故人の想いを
実現するには?

葬儀の費用って
実際いくら必要な?

訪問相談も承っております。

手順はとても簡単です。

- ①まずは52-3930までお電話ください。
- ②「訪問相談希望です」とお伝えください。
※訪問日時を決めます。
- ③お約束の日時にスタッフがお伺いします。

入会随時
受付中

ふるさと葬祭 みどりの会

みどりの会はJA葬祭の
あんしんネットワーク

「みどりの会」は葬儀全般を安心してまかせられる会員制度です。どなた様でもご入会いただけ、特典も盛りだくさんです。ご家族のご不幸ばかりではなく、ご利用いただけます。

- ◆「JA葬祭みどりの会」は、葬儀全般を安心してまかせられる会員制度です。
- ◆みどりの会は県内におけるご葬儀の施行やご相談なども対応できるJA葬祭ネットワークです。
- ◆先方の風習が分からなくて不安?! そんな時はその地域のプロにおまかせください。

●ホールご利用特典……コース価格15%割引／自宅用祭壇30%割引



●ご葬儀の自宅祭壇貸出料金
.....15%割引



●ギフト
10~20%割引



●外花環貸出料金
¥16,200→¥14,500(税込)
¥21,600→¥19,000(税込)



●生花(籠花)料金

¥16,200→¥14,500(税込)
¥21,600→¥19,000(税込)

他にも会員特典盛りだくさん



虹のホール アグレム

〒013-0069
横手市三枚橋一丁目6-10
TEL.0182-36-3930
FAX.0182-36-3931



虹のホール アグレム
おものがわ

〒013-0208
横手市雄物川町沼館字稻荷前62
TEL.0182-56-2630
FAX.0182-23-1220

提案します。安心・まごころ葬儀
(株)ふるさと葬祭 アグレム
〒013-0345 横手市大雄字本庄道北堰間13
TEL.0182-52-3930/FAX.0182-52-3931
24時間
受付
年中
無休
**フリーダイヤル
0120-87-2630**

Information

会員の皆様

年忌にあたって
いませんか?

ふるさと葬祭アグレムでは葬儀後一周忌に
あわせて封書にてご案内をさせていただいて
おります。ご利用割引券など同封してお
りますので、お気軽にご連絡ください。

ご意見ご感想

この広報誌についてのご意見ご感想、掲載
してほしいことなどございましたら
(株)ふるさと葬祭アグレム<担当・杉田>まで

パートタイマー
随時募集中

業務内容 > 新規会員募集
詳しくはふるさと葬祭アグレム
(TEL.0182-52-3930)
までお問い合わせ下さい。